

(会派) ひまわり会と市民オンブズマン

藤崎良次の佐倉市議会情報

目次

1頁 佐倉市の交付金ミス
5.3億円を失う
各職員のミスと市答弁

2頁 6月定例議会概要
市議会のタブレット
消防団の災害出動報酬
市議会問責決議

「国からのコロナ交付金」に対する手続きミスで、佐倉市は5億3千万円を失う！

佐倉市の国交付金(補助金)のミスについて

6月の議会において、交付金の手続きミスについて議員から質問が集中した。市は、ミスを認めているが、今後の再発防止については、不十分と感じる。コロナ交付金(令和2年度補助金)について、市は

新型コロナ臨時交付金及び介護保険交付金のミス

ミスの概要

佐倉市はコロナ交付金(国補助金)の事務処理ミスを行い5.3億円を失った。

これに対し市長は「事務処理誤りにより、市民の信頼を損なう結果となり、心よりおわび申し上げます」と答弁。

ミスの実際(2件)

① コロナ交付金約19億円の交付を令和2年度に市は国から受ける。そして、翌年度に活用するための繰越し手続をした。しかし、千葉県の求めに対し、誤った金額の報告をし、5.3億円が利用不可になる。

② 介護保険交付金は、令和2年の市内高齢者人口等を、誤って前年の数値を県に報告し、交付額が本来より7千万円減少した。これは単純ミスであったが、担当部と財政部の合議(協議)が無かった。合議を行えば本ミスは防げていたと判断される。金額条件を入れるなど、財務規則を一部見直し等すべきである。なお本件は、追加交付基準が変更され一部救済される見込みがある。

ミスへの市答弁

市は事務執行の検討会を踏まえて次のように答弁した。

① 「原因は、決裁における不適切な事務処理や不十分な審査体制、職員の知識不足、情報共有等のコミュニケーション不足などである。」

② 「再発防止として、複数人によるチェック体制や、所属長のマネジメントの強化、職員研修の実施、事務執行体制の見直しなどを進める」

③ 「職員の賠償責任については、地方自治法により、本件のような交付金の交付手続は対象ではないと考えている」



表1	佐倉市職員	事務内容	ミス内容	備考	処分
	市長	全体責任者	交付金の喪失	給料減額10%、10か月	
	副市長	市長の補佐	交付金の喪失	給料減額5%、10か月	
コロナ交付金各事務執行者 (Rは令和の略)	①企画政策部長	事業の取りまとめ	交付金の喪失	事業選定、計画、実施を含む	
	②R2 企画政策部長	部責任者	繰越不可としたミスを防げず	所属職員が誤金額情報を入力・報告	減給10%1か月
	③R3 企画政策部長	部責任者	繰越不可団体としたミスを防げず。繰越額0円と報告	誤金額情報を訂正できず	減給10%1か月
	④R2, R3企画政策課長	事務担当の上司	合議せず、部長承認得ず	財務規則違反、事務決裁規程違反	減給10%2か月
	⑤R2 R3財政部長	財政部責任者	誤金額を発見できず	合議の供覧すべきをせず	戒告
	⑥R2 R3財政課長	財政課責任者	誤金額を発見できず	合議の供覧すべきをせず	戒告
	⑦R2 企画政策部担当	事務担当実行者	誤金額入力	上司の承認受けず	戒告
	⑧R3 企画政策部副主幹	事務担当実行者	繰越額0円の資料作成。繰越不可を発見できず	誤金額情報を作成	訓告

表2 違反事項	企業政策課長・同課担当	企業政策課長	財政課長	報告	上司の承認受けず	合議をせず	合議に関し所属職員に周知すべきを非周知	事務決裁規程違反	財務規則違反	時間制約あり		
表3 電子メール連絡	作成者	送信者	メール管理者	メール作成	メール送信	メールの保存等	県への誤情報作成	県への誤情報送信	メール記録は自動消去	財務規則及び事務決裁規程違反文書を作成	財務規則及び事務決裁規程違反文書を送信(要改善)	事前に問題発覚せず

各職員のミスと市答弁

(表1参照)

① 企画政策部長の責任は、「一連の事務の適切なマネジメントである」。

② R2年度企画政策部長は

問題点・改善点

① 市は事務執行の検討会を設置し、委員に戒告を受けた財政課長を入れており不適切である。更に、同検討会は市職員のみであり、外部の第三者も活用すべきである。

② R2・3年度財政課長は「誤った金額の報告により、非繰越団体とされたことを合議において発見できず、審査体制不十分」。

③ R3年度企画政策部副主幹は「誤った金額報告、上司の承認を得ず報告、非繰越を発見できず」。

④ R3年度企画政策部副主幹は「繰越不可を発見できず、繰越0円資料作成」。

オンブズマンとは「行政苦情の解決や行政の適正運用、人権保護のために行動する人」です。

市民オンブズマンは、市民がオンブズマンのように活動するものです。各種の御相談は下記連絡先にどうぞ。一緒に活動できる方も募集中です。

【資料2】

新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金(暫定) 県、支出見込額報告書

項目	金額
(1) 第1次交付金	1,899,974,000 円
(2) 第2次交付金	862,026,000 円
(3) 第3次交付金	598,988,000 円
(4) 第4次交付金	528,188,000 円
(5) 令和2年度中央交付金(繰越)	1,833,024,000 円
(6) 令和2年度中央交付金(繰越)	4,530,000 円
(7) 第2次交付金決定額	1,899,974,000 円
(8) 第3次交付金決定額	862,026,000 円
(9) 第4次交付金決定額	598,988,000 円
(10) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(11) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(12) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(13) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(14) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(15) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(16) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(17) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(18) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(19) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(20) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(21) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(22) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(23) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(24) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(25) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(26) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(27) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(28) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(29) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(30) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(31) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(32) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(33) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(34) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(35) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(36) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(37) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(38) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(39) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(40) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(41) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(42) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(43) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(44) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(45) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(46) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(47) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(48) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(49) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(50) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(51) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(52) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(53) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(54) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(55) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(56) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(57) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(58) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(59) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(60) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(61) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(62) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(63) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(64) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(65) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(66) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(67) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(68) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(69) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(70) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(71) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(72) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(73) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(74) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(75) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(76) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(77) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(78) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(79) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(80) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(81) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(82) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(83) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(84) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(85) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(86) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(87) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(88) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(89) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(90) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(91) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(92) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(93) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(94) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円
(95) 令和2年度中央交付金決定額	4,530,000 円
(96) 令和2年度中央交付金決定額	1,899,974,000 円
(97) 令和2年度中央交付金決定額	862,026,000 円
(98) 令和2年度中央交付金決定額	598,988,000 円
(99) 令和2年度中央交付金決定額	528,188,000 円
(100) 令和2年度中央交付金決定額	1,833,024,000 円

千葉県への誤った報告

② 電子メール送信において、財務規則違反、事務決裁規程違反の文書を送信している。送信者が違反文書を送信しないようにすべきである。そのため、財務規則、事務規定に違反しない表示等が必要。

③ 財政部等との合議(協議)が重要であり、同一の部局だけでなく組織的に誤りを防ぐ必要がある。必要なら、合議の金額条件を設定するなどして組織力を発揮すべきである。

④ 多人数のミスが連続しており、誰にもミスの可能性はある。従来通りで良いではなく、初心に帰ることを肝に銘じて見直す必要がある。

6月の佐倉市定例議会他概要

今議会では、一般質問時間を基本一人20分(本来30分)に制限するコロナ対策として行われた。議案は、補正予算、市長・副市長の給料減額等が審議され、一般質問では、市の手続きミス「コロナ交付金5・3億円の喪失」に質問が集中した。

議案賛否(左表参照)

①補正予算2件 「給食用食材費支援」など4・7億円の増額。
 補正予算(2号)は、「コロナ緊急支援」、「個人番号カード交付」、「市のタブレット導入」など15・1億円の増額。
 「市議会のタブレット導入」など15・1億円の増額。コロナ交付金に關する繰越ミス5・3億円の喪失に対する責任の増額。
 補正予算(3号)は、コロナ対策として、生活困窮世帯支援として、住民税均等割のみ課税世帯に10万円支給、「子育て世帯支援」、

「給食用食材費支援」など4・7億円の増額。
 補正予算(2号)は、「コロナ緊急支援」、「個人番号カード交付」、「市のタブレット導入」など15・1億円の増額。コロナ交付金に關する繰越ミス5・3億円の喪失に対する責任の増額。
 補正予算(3号)は、コロナ対策として、生活困窮世帯支援として、住民税均等割のみ課税世帯に10万円支給、「子育て世帯支援」、

トピックス

③核兵器禁止条約への参加を求める請願 賛成少数で否決された。
 ④桜井道明議員への問責決議案 一般質問中の不規則発言(ヤジ)に対して提出された。当該議員の不規則発言は、日頃からの問題視されており、自衛と共に議長からの注意も必要であるが、否決された。
 ⑤高橋議員、稲田議員への問責決議案 根拠不在であり桜井議員への問責決議に對抗して出されたようだが、2票差で可決。

議案番号	議案名	賛成	賛成少数	反対	棄権	不審	欠席	欠席	欠席	欠席	欠席
①	2022年度一般会計補正予算(2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②	市長副市長の給料の特例条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③	日本政府に核兵器禁止条約への参加・調印・批准を求める	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
④	桜井道明議員への問責決議	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
⑤	高橋議員・稲田議員への問責決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案種類	提出者	件数	内容(青字は否決された議案)	可決数
補正予算	市長	2	R4年度一般会計	2
条例制定	市長	1	市長副市長の給料の特例条例	1
条例改正	市長	5	税賦課徴収、都市計画税、印鑑・手数料、介護保険、学童保育所設置	5
請願	市民	3	教育予算拡充、義務教育費国庫負担堅持、核兵器禁止条約への参加等を求める	2
決議	議員	2	桜井道明議員への問責決議、高橋とみお議員・稲田敏明議員への問責決議	1
意見書	議員	9	国の教育予算拡充、義務教育費国庫負担堅持、地方公共団体システムの標準化、学校施設のZEB化の推進、消費税5%への緊急引き下げ、消費税のインボイス制度中止、憲法の理念に基づいた安全保障政策の遂行、汚染水海洋放出設備工事の中止、マイナ保険証導入の義務付け中止	4



佐倉市議 藤崎 良次

市議会にタブレット

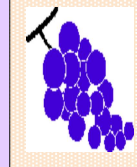
「佐倉市議会では、議会改革推進委員会にて、タブレット端末導入による議会の情報化(ICT)に取り組むことになった。そのために、2137万円が補正予算(2号)に計上された。支出内訳はタブレット端末等800万円、ソフトウェア設定費用300万円、WiFiファイ整備等980万円也。財源は、1300万円がコロナ交付金であり、「コロナ感染の場合に議員が集まれない場合でも、会議システムを活用し議会活動ができる」が交付金活用理由になっている。

この様に、コロナ交付金は、コロナ感染対策として広い範囲で活用できるものになっている。

その他の導入目的として、ペーパーレス化、スケジュール管理、調査活動の推進などがある。

今後、自宅にWiFiファイを活用する場合、「接続料金」を政務活動費に一部でも認めるか否かを話し合うことになっている。

議会へのタブレット導入により、議会がより身近なものになることが求められる。



出された。しかし、これを拒否したために、議会運営委員会には秘密会を開催し、議長職権により削除した。さらに、この倉市が受け入れた。2019年には大雨により被災。その雨量は、248mm/日、最大54mm/時であったが、調整池は満水にはならなかった。

編集後記

ロシアのウクライナ侵攻から半年近くがたちますが、激しい交戦が変わらず続いています。また、安倍元首相が参院選挙運動中に銃撃で射殺されました。

参院選挙においては、改憲勢力が3分の2を超えています。衆議院も超えていますので、改憲への動きが急になっていきます。

日銀の国債保有が50%を超え、物不足、円安も進み、インフレ懸念が高まっています。そして、新型コロナウイルスは過去最大の感染者を記録しています。この様な大きな変動の中で誰もが不安を感じていると思います。

そんな中で、困っている人への援助が最重要課題とされています。困っている方は、遠慮なく市にご相談をお願いします。

市議会問責決議

問責決議とは、議会でその責任を問う決議であり、可決されたら、法的な拘束力はない。藤崎も以前に問責決議を可決されたことがある。

その際の内容は、藤崎が一般質問の際に「議会の録画や録音を公開しないのは、市議会に市民が入りにくくなるという意味がある」と発言した。これに対し、発言取り消しの動議が出された。

佐倉市議会の問責決議 2006年3月にも

今、委員会の録画・録音の公開が求められ、発言取り消しの動議が出された。

明神橋と明神台調整池

これらは、三菱地所が「千葉リサーチパーク」開発で整備し、1999年に佐倉市が受け入れた。2019年には大雨により被災。その雨量は、248mm/日、最大54mm/時であったが、調整池は満水にはならなかった。

雨水は雨水管などにより、調整池に流入する構造である。しかし、雨水管などで処理できずオーバーした雨水が斜面などを削って崩し、災害に至った。斜面の勾配を緩くする、落葉対策、清掃などが、千葉市との境でもあり千葉市との協議も必要である。



明神台調整池周辺工事

金額単位(千円)	佐倉市 消防団報酬支出			国 消防団基準財政需要額			国-佐倉市 差額		
	年額報酬	出勤報酬	合計	年額報酬	出勤報酬	合計	年額報酬	出勤報酬	合計
H30~R2実績平均	29,135	16,547	45,682	35,000	37,600	72,600	5,865	21,053	26,918
R4年度見込み	29,000	19,000	48,000	35,300	27,400(8,600+18,800)	62,700	6,300	8,400	14,700

消防団員の報酬は、年額報酬と出勤報酬。今年度から、出勤報酬は災害出勤(火災など)とその他の出勤(出初式や訓練など)に分けられ、各個人に直接振込まれる。

消防団に聞くと、本年度から、災害出勤は出勤実績により特別交付税が決まり、一人1日8000円。佐倉市では来年度から同額へ(本年度は1500円)。その他の出勤に国は一人1日3500円を基準財政需要額として計上見込。佐倉市では一人1回1500円に据え置き見込。(国、周)

辺り町に比し、佐倉市は是正が遅い。)来年度の佐倉市災害出勤報酬分は、700万円増が見込まれている。これ迄、国の基準財政需要額では、出勤報酬が3760万円となっており、佐倉市の出勤報酬は、年平均1700万円程度であり、2100万円も少なかった(団員約740人)。

上表は、これ迄の実績と本年度の見込み(推定)であり、国との差額は縮小。消防団について市民の皆様からのご意見をお待ちしています。下記へどうぞ。